

## 自立支援協議会交流会の報告について

本件については、令和 2 年 9 月 28 日に東京都自立支援協議会主催のもと、各自治体の自立支援協議会関係者を対象に交流会が実施され、本区からは、本会、部会員含め、3 名の委員及び事務局 1 名が出席しました。

当日は、シンポジウム及びグループ討議が行われ、概要については下記のとおりです。

### 1 テーマ

当事者が「語る」ことを「聴く」には？

### 2 シンポジウム概略

#### (1) 自立支援協議会で起こっていること

「会議が難しい、わからない。」「自分が止めると進まなくなる、自分には難しい。」

「私がこの会議にいる意味がわからない。」

#### (2) 自立支援協議会は、どう応えているか？

点字資料、手話通訳の手配等、合理的配慮は行われているが、障がいのある人がない人と同じスタートラインに立つために最低限必要なこと。

#### (3) 自立支援協議会に「ないもの」は何か？

「あの人の声を聴きたい」「あの人の意見を知りたい」という心からの気持ちが私たちの中にあるか？

### 3 グループ討議

各参加者の区市町村における自立支援協議会の課題や工夫について討議を実施。

#### (1) 課題

- ・限られた時間の中で、当事者が話したいことをテーマとするか、必要な議題をテーマとするかが難しい。
- ・会議が形式的な部分が多い。
- ・障がい当事者しか語れないことをうまく吸い上げることはできていない。

#### (2) 工夫

- ・当事者の声を集めて本会で報告。
- ・必要があれば部会にオブザーバーとして関係者を出席させることができる。
- ・WEB を使った会議の実施。

※ 上記は事務局が参加したグループ討議の一例となります。